

コモンス

コモンスとは…労働者農民市民が協働して、国家と私を超えた自治と生産の共同の場を、共につくり合うこと

「沖縄復帰50周年記念式典」が開かれたが、祝賀式典をやるような沖縄の実態か、と問いたい。

「復帰」後、沖縄が日米軍基地のない平和な沖縄を自ら目指す。しかし、西政府は聞く耳持たない。

1609年薩摩藩の侵攻、こうして沖縄の歴史を振り返る。

「復帰」50年に際して米国の琉球藩の設置、79年の軍隊・警察を使った琉球藩を廃し沖縄県を設置して琉球王国を崩壊させた「琉球処分」。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

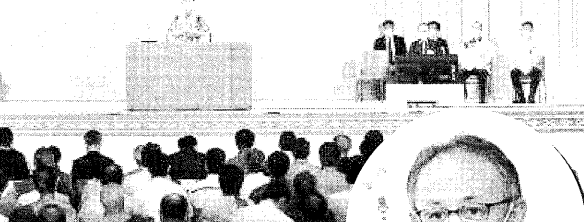
「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。



デニー知事の「新たな建議書」を支持 (関連2面)→



「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

50年前、琉球政府の屋良朝苗首相が日本政府に建議した「復帰措置に関する建議書」は、米軍基地撤去、平和憲法の下での基本的な人権の保障、自己決定権の確立と沖縄の民意の尊重を柱とする「基地のない平和な沖縄」を希求する沖縄県民の願いであった。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。



2022.5.15 第162号

発行所/コモンス 編集機関紙局/東京都中野区新井2-7-12-25号 コモンズ政策研究機構内

沖縄「日本復帰」50年

沖縄が「日本復帰」50年の節目を迎えた15日、沖縄県と政府共催で「沖縄復帰50周年記念式典」が開かれた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

「復帰」50年の式典会場の後方に米政権の「沖縄の貢献」に感謝する「メッセージ」を掲げた。

基地なき平和な沖縄の自己決定権確立を



辺野古新基地 普天間即時返還! すべての基地

基地のない平和な沖縄そして日本へ! 沖縄意見広告運動が朝日・沖縄2紙に広告掲載

Advertisement for the 13th Okinawa Opinion Advertisement Campaign, featuring a report collection event on May 29th.



3年ぶり平和行進！千人が「基地のない沖縄」訴え



宜野湾市役所前を行進する「5・15平和行進」の参加者ら=14日午前9時すぎ、宜野湾市

「本土復帰」から50年となる沖縄で、過重な基地負担の解消を訴える「第45回5・15平和行進」(同実行委員会、沖縄平和運動センター、フォーラム平和・人権・環境主催)が14日、開催された。全国の労働組合や平和団体など約70団体約千人が参加した。平和行進は新型コロナの影響で2020年、21年と2年連続で中止しており3年ぶりの開催となった。参加者は14日午前、普天間飛行場がある宜野湾市を出発した。嘉手納基地がある沖縄市まで約9キロを行進しながら「基地のない沖縄をつくろう」「平和な世界をつくろう」と訴えた。

出発式で沖縄平和運動センターの比嘉京子共同代表(県議)は、沖縄に在日米軍基地が集中している状況について「地政学的ではなく政治的につけられてきた」と指摘した。2017年に米軍ヘリの墜落が普天間第二小学校に落下した事故などに触れ「基地が生活にどのような影響を与えているのか、日本の安全保障をどうするのかを自分事として持ち帰り、大きな議論をつくってほしい」と参加者について呼びかけた。県関係職員連合労働組合からの参加者(47)は「基地があるが攻撃対象にならない、戦争に巻き込まれるのではないかと心配だ。行進を通して平和の大切さを訴えたい」と話した。参加者は3グループに分かれ、雨のなか、歩を進めた。1996年に日米両政府で返還が合意されたにもかかわらず、いまだ残る普天間飛行場のゲート前では

「静かな生活を返せ」などと二斉に声を上げた。宜野湾市の小学校に勤務する男性(46)は「子どもたちが校庭の上を飛ぶへりやオーストレイに慣れすぎていないか心配」と話した。厚木や横須賀に米軍基地のある神奈川県から来た女性(57)は「地元にも基地があり、危険と隣り合わせ。ただ、沖縄の人は、それ以上に危険で、不安な」と基地縮小を願った。



那覇文化芸術劇場を会場に県民大会盛況

那覇 5/15 平和行進で県民大会

「基地なき沖縄を求めた希望砕かれ」

5・15平和行進実行委員会(事務局・沖縄平和運動センター)は15日(那覇文化芸術劇場)で県民大会を開いた。「復帰50年」の内実を問う前日14日に行進をした全国の参加者ら千人(主催者発表)は、辺野古新基地建設断念や日米地位協定の抜本的改定などを求めた上で「基地のない沖縄を自指す宣言をした。大会宣言は、1972年に「本土復帰」が実現したものの「基地のない沖縄を求めた希望は打ち砕かれ、政府が約束した『核抜き本

会場では、玉城デニー知事が辺野古新基地建設断念や日米地位協定の抜本的改定などを求め発表した「新たな建設計画」を支持し、「実現を自指す県民大衆の英知により骨肉化されていくことを期待する」とした。また「平和憲法を守り抜くことが、復帰して良かった」と心から喜び合える日

「静かな生活を返せ」などと二斉に声を上げた。宜野湾市の小学校に勤務する男性(46)は「子どもたちが校庭の上を飛ぶへりやオーストレイに慣れすぎていないか心配」と話した。厚木や横須賀に米軍基地のある神奈川県から来た女性(57)は「地元にも基地があり、危険と隣り合わせ。ただ、沖縄の人は、それ以上に危険で、不安な」と基地縮小を願った。

ロシアのウクライナ侵攻にも触れ、憲法9条を守る立場から双方に戦争放棄を訴え、外交による平和的解決を求めた。

主催者あいさつで上原邦夫共同代表(沖縄組委員長)は「50年前の平和で豊かな沖縄を願った県民の思いを受け継ぎ、平和への願いと豊かな暮らしを求めて声を上げ続けなければならぬ」と強調。玉城知事は「平和の思いを全国にも広げていきたい」とのメッセージを寄せた。

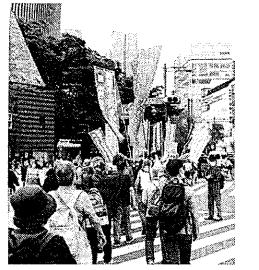
記事参照：琉球新報・沖縄タイムスほか各紙より

軍事基地は出て行け 銀座デモ

ウチナーイイクサバやナラランドー(主催・沖縄一坪反戦地主会関東ブロック) 沖縄の平和は、日本、アジアの、そして私たちの平和だ 参加報告：乱鬼龍

5月15日(日)「復帰」50年の、沖縄現地の闘いに呼応して東京でも行動が取り組まれた。(参加者500名) この行動に、沖縄から山城博治さんも参加され、出発前「復帰50年(何を祝うのか?)」「また沖縄に犠牲をしよう」と

一坪反戦地主会(関東ブロック)が主催した。参加者は15日午後、東京都千代田区の日比谷公園を出発。沖縄の伝統楽器「三線(さんしん)」の音を響かせながら、銀座を約2.5キロを



行進し米軍基地は沖縄から出て行け「辺野古新基地建設を中止せよ」など訴えた

沖縄意見広告運動第13期 「平和な沖縄、戦場にするな」

Advertisement for the 13th period of the Okinawa Opinion Advertisement Campaign. It features a large image of a newspaper page with the headline '命と宝' (Life and Treasure) and the sub-headline '沖縄を再び戦場にするな!' (Don't turn Okinawa into a battlefield again!). The text mentions that the number of opinion advertisements has surpassed the previous year's 153,244. It also lists participating media outlets like '共同通信', '東京新聞', '北海道新聞', '大分合同新聞', '沖縄タイムス', '琉球新報', and '地方紙'.

Advertisement for the 13th period of the Okinawa Opinion Advertisement Campaign. It features a photo of a woman and text stating that the number of opinion advertisements has surpassed the previous year's 153,244. It also lists participating media outlets like '共同通信', '東京新聞', '北海道新聞', '大分合同新聞', '沖縄タイムス', '琉球新報', and '地方紙'.

「共同通信5月16日全国発信」東京新聞・北海道新聞・大分合同新聞・沖縄タイムス・琉球新報ほか全国紙・地方紙で大きく報道

「配信の記事内容」市民団体が地元紙に広告

米軍普天間飛行場(沖縄)「沖縄を日本へ」と訴える意見広告を出した。野古移設に反対する市民グループ「沖縄意見広告運動」宝(命と宝大切)「沖縄を再び戦場にするな」と記す。また琉球新報など3紙の朝刊に「基地のない平和な沖縄」を掲載し、復帰前年の1971年、や団体は計1万5324件に上った。

琉球政府の屋良朝苗行政主席が米軍基地撤去を掲げた建設計画の内容を求めた。台湾有事に備えた南西諸島の自衛隊配備も、戦争運動は2010年に開始。今回の広告に賛同した個人や団体は計1万5324件に上った。

意見広告が掲載された地元・琉球新報と沖縄タイムス 全国紙では朝日新聞に掲載

5.1大阪中之島メーデー

第93回

戦争ではなく共生社会実現を！ IR・カジノ・万博を許すな！



今年も先鋭的労働者を中心に●労働運動弾圧を許さず、労働基本権を守ろう！●生活と生命を守るため、賃金1500円を！●維新・吉村（大阪府知事）は、生命を守るコロナ対策を行え！●IR・カジノ、万博を許すな！●戦争反対！憲法改悪に反対しよう！●沖繩・辺野古の基地建設を阻止などのスローガンのもと、第93回大阪中之島メーデー集会が5月1日、中之島公園剣先広場で開かれ多数労働者が参加した。

ウクライナ侵攻に便乗の政府を糾弾

主権者挨拶では「ロシアのウクライナ侵攻に便乗した日本政府の敵基地攻撃能力の主張を糾弾する。欧米諸国は戦争を止めるどころかこれをあおり立てている。こういう政治のあり方は許されぬ。全世界のメーデーでもこのことが問題にされていると思う。」

弁護団主張が表を結ぶ関生弾圧事件

関生労働者弁護団を代表して森博行弁護士から「関生弾圧事件関連では、その一つである加茂生コン事件の12月大阪高裁判決ではひとりの強要罪は逆転完全無罪、2番は就労証明の発行は業者側の義務だと明確に述べた。もうひとりは脅迫罪で懲役刑から罰金刑に減らされた。

刑（吉告）。さらに直接労働関係がない場合でも、憲法28条の基本権は認められ、すべての差別企業が使用者になることを認め、続々と歌山広域協組事件においては、強要と威力業務妨害罪そのものについては不当判決だったが、組合員のいない広域協組に対し交渉を求める行為は正当なとの判断だった。関生及び弁護団のこれまで主張が、少しだが表を結んだ」と述べた。



大阪維新によるカジノの賛否を問うー住民投票署名運動 目標達成へ市民パワーを！

維新による主導で大阪府が誘致しようとしているIR（カジノを含む統合型リゾート）を巡り、吉村洋文・府知事に對しカジノの賛否を問う住民投票を実施するよう求める直接請求署名運動が、4月25日で署名収集期間を折り返した。活動主体の市民団体「カジノの是非は府民が決める住民投票をもとめる会」の集計では、署名運動への参加者は6000人を超え、ゴールデンウィーク中も、各地のイベントなどに繰り出して署名を呼び掛け目標達成に全力を挙げている。



今回は署名収集に動く「受任者」をどれだけ確保できるかが、法定必要署名数を集められるかどうかの大きなポイントだ。5月1日時点で「ももてる会」の事務局が把握している受任者は6012人。署名運動期間内に目標の1万人は手が届くところまで来た。

やくざがらみの業界！ストライキ回避のため合意の上の解決金・雇用保障！どこの犯罪！「恐喝」とは「ストライキ」は成り立たない！

関西生コン裁判 京都地裁傍聴報告

加茂生コン事件は、日雇組員の正社員化、保育園提出の就労証明書を要求を強要未遂・恐喝未遂とされた。この3事件が対象だ。

K証人（新京都生コン社長）に弁護士反対尋問（3月9・23日）

加茂生コン事件は、日雇組員の正社員化、保育園提出の就労証明書を要求を強要未遂・恐喝未遂とされた。この3事件が対象だ。2月から始まった証人尋問で検察側証人に対する尋問が続いている。検察官は、証人から協定書を書かされた事実を主張し、証人が代表を引き受け、関生支部と共同で行った集会だったと認めた。

2012年に連帯が公然化した時、社長は解雇するとし暴力団を使ったこと、ベスタの解散時小型車でアウト社（協組に未加盟社）が安い価格で売却が少なく、支部が大型車要求をしたが協組執行部が反対した事実を認めた。

2012年に連帯が公然化した時、社長は解雇するとし暴力団を使ったこと、ベスタの解散時小型車でアウト社（協組に未加盟社）が安い価格で売却が少なく、支部が大型車要求をしたが協組執行部が反対した事実を認めた。

2012年に連帯が公然化した時、社長は解雇するとし暴力団を使ったこと、ベスタの解散時小型車でアウト社（協組に未加盟社）が安い価格で売却が少なく、支部が大型車要求をしたが協組執行部が反対した事実を認めた。

争議終結からずいぶん後の告訴に「警察からこんな取り調べを受けたか」とは「わからない」と述べたが起訴されなかった事実はどうなるか。

近畿生コン社破産の解決も工場占拠や入札問題があったが、解決金と雇用補償で協定書は結んだとし、K証人は解決金を払った理由が「拒否するとストをやられる」と「納得できなかった」と、検察官の意向に沿った発言。

スト解除をしてほしかったので、退職金などの解決金は納得していないが支払った。協定書は、要求に応じなかったらストライキを恐れたからだと言った。

近畿生コン破産の終結も検察官質問に「何で払わなかったのか」と思ったが、理事会でストをやられると困るから仕方なく決めた。

近畿生コン破産の終結も検察官質問に「何で払わなかったのか」と思ったが、理事会でストをやられると困るから仕方なく決めた。

近畿生コン破産の終結も検察官質問に「何で払わなかったのか」と思ったが、理事会でストをやられると困るから仕方なく決めた。

裁判官がわざわざ「京都協組は被害者ですか？」と湯川被告人についてどう思いますか？」と質問。

「ストを突き付けられた。ピストルはストである。ストで会社はつぶされるのでやむを得ず要求に従った。厳しい判決をとストに恐喝と無理がありあり。

「調書では『Kは共犯者とは思っていないが、(連帯の協力者)』とあるが」には沈黙。

「警察に告訴する前から警察に調書を取られていた。たね」には、素直に「はい」。

最後に裁判官からの質問で「労働組合を認める認めない、雇用があれば認めるとのことになりますか」との質問に「認める」と、労働条件などの団体交渉をしななければならなくなる。認めなければ団体交渉を受け付けなくても良いと考えて」とピンボケの答えで終了。

「報告 管理職ユニオン・関西委員長 仲村実

「近畿生コン事件で、Kさんに『いやこんだけ、この金額で十分合格点です』と言ったことは、ありましたか、これには「あった。Kさんはがんばっていたから、リップサービスで言ったかもしれない」と。

「調書では『Kは共犯者とは思っていないが、(連帯の協力者)』とあるが」には沈黙。

「警察に告訴する前から警察に調書を取られていた。たね」には、素直に「はい」。

最後に裁判官からの質問で「労働組合を認める認めない、雇用があれば認めるとのことになりますか」との質問に「認める」と、労働条件などの団体交渉をしななければならなくなる。認めなければ団体交渉を受け付けなくても良いと考えて」とピンボケの答えで終了。

「報告 管理職ユニオン・関西委員長 仲村実

「報告 管理職ユニオン・関西委員長 仲村実

年間来訪2000万人は業者の嘘、一方的試算で合理性なし

大阪のIR整備計画では想定年間来訪者数を2000万人と謳っているが、これは東京ディズニーランドのコロナ前の年間来訪者数1800万人を上回るもので、その上新型コロナウイルスの影響をまったく考慮していない途方もない数字だ。

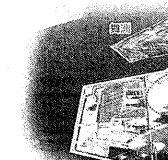
しかも、集客について国は「カジノ以外の国際会議場イベントで6割くらいは集めてほしい」としている。

2019年に大阪でおこなわれた共産党の大門参院議員によると、この見積もりの根拠を尋ねたところ、担当者の回答は「事業者が計算したので分からない」というものだったという。

つまり、事業者側が出してきた数字をそのまま鵜呑みにし、吉村知事や松井市長は来訪者2000万人などと触れ回っているだけなのだ。

「報告 管理職ユニオン・関西委員長 仲村実

「報告 管理職ユニオン・関西委員長 仲村実

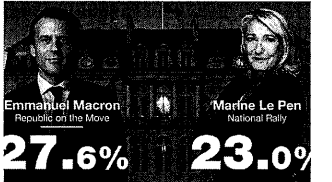


IR構想の権利と迷惑

疑念と権利をストップを！

フランス大統領選挙結果をどう読むか

七月参院選へ向けた教訓 武峪真樹



吹き荒れる極右ルペン旋風と 決選投票の投票者数激減



2022年2月24日、フランス大統領選挙の決選投票が行われ、現職で中道派のエマニュエル・マクロン大統領が極右・国民連合のマリーヌ・ルペン候補を破り、再選された。

あるルペンは支持者に向かって「事実上の勝利」を宣言した。しかし全体の投票率は第一回投票の73.69%から65.80%と大幅に下がった。第一回投票をした人のうち380万人もが決選投票をやめた事になる。

注目しなければならないのは、ルペン候補の得票率の高さである。5年前の2017年と比較すると66.10%対33.90%から58.54%対41.46%へと躍進した。2対1から3対2へ、得票数で見ると5年間で1006万4千票から1329万票への拡大で

どちらが大統領となるのが半ば慣例となっていた。ところがこの年は、共和国連合ジャック・シラクの19.88%に対して国民戦線・国民連合のジャン・マリ・ルペン(マリーヌの父)が16.86%をとって第二位となったのである。社会党のリオネル・ジョスパンは16.18%の僅差で落選した。思いもよらぬ事態にフランス社会は騒然となった。

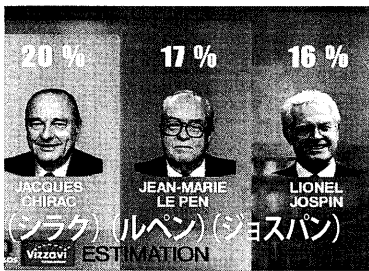
票で圧勝し、ルペンは17.79%で惨敗した。この時はまだ有権者はファシストを拒否していた。しかしそれから20年続いた新自由主義に苦

世界資本主義の危機と 新自由主義の推進

1970年代後期から経済危機が本格的に始まっていった。それに対抗する資本のグローバル化が、世界に広がる。世界的に進み、それを支える新自由主義(ネオリベラリズム)政策が各国政府により進められていった。新自由主義政策とは、あらゆる規制を緩和し、公営事業を民間に売却し、年金受給年齢を引き上げ、福祉を削減し、国民経済を資本の自由競争に委ねる政策のことだ。世界に広がった資本主義の危機が、弱者の生活を奪う時代となったのである。

イデオロギーよりも 我々の生活が大事だ

社会党と保守系右派とで政権のキャッチボールをしながらどちらの側も庶民に貧困を強制する新自由主義に対して、大衆が反乱を起したのが2002年の大統領選挙だった。有権者はどっちが政権をとっても変わらない左右の中道派から、その外側に広がる極右派と極左派へと投票の方向を変えたのだ。なぜなら極右派も極左派も弱者の立場に立って、新自由主義を批判してい



今日の世界では新自由主義に立ち向かう勢力が極左だけでなく、極右からも現れていることに注目しなければならぬ。フランスだけでなく、アメリカも同様である。アメリカでトランプが一度は大統領となれたのは、主に白人の下層労働者を味方にしたからだ。彼は貧困者層への優遇措置を訴える。しかし「アメリカ第一主義」を掲げ民衆の敵を外国人や外国企業にすり替え、支持していると見られる。

ネオリベラリズムが、 ナショナリズムか

一般に見られ、ドイツのネオナチもアラブやトルコからの出稼ぎ労働者を排斥する。プーチンもこの手法を使い、「大ロシア主義」によってウクライナ支配を企てる侵略戦争を起した。

このように我々は、各国で構築される「ネオリベラリズム」か「ナショナリズム」かという歪んだ対立構図の中で選択を迫られている。フランスの決選投票で投票率が落ち込んだのは、このような選択への拒否の現れである。

日本でも自民党が起して来た「改革」とは新自由主義に他ならない。自民党はそれによって貧富の格差を限りなく拡大し、しかも民族主義によって中国・朝鮮・韓国を排斥してきた。つまり自民党は「ネオリベ・ナショナリスト」なのである。

日本では野党はどうか。28年前村山社会党は自民党と結託して新自由主義を推進してきた。フランス社会党も同じ没落の運命を辿った。13年前民主進歩党は「国民の生活が第一」を掲げたが、これも資本や富裕層の利権にまったく手出しできず敗退していった。

新自由主義への幻想を断ち切ることができないでいる。それを覆す道は、労働者の階級的闘いの中にしかない。7月参院選では新自由主義に屈服せず闘う候補を応援しよう。弱者・貧困者・労働者の代表を国会へ送り込もう。

新自由主義と民族主義が 一体となった日本政府

労働者の階級的団結か

新自由主義に対する極右ナショナリストの基本戦略は、民族主義・一国主義による外国人労働者や外国資本に対する排斥である。しかしそもそもグローバル資本主義とは資本の国際的連携と多国国籍化によって共通の利益を追求する国際的運動である。だから雇用主からのわずかな「分け前」を、他民族を排斥して優先的に受け取っても、何の解決にもならない。民族排外主義は、所詮は新自由主義への屈服であり、「真の敵」を隠蔽する目くらましに他ならないのである。

民族排外主義か、 労働者の階級的団結か

国内短信

5月1日、東京日比谷公園にて実行委員会主催で第93回メーデーが開催された。来賓挨拶に立った社民党



新自由主義に対する極右ナショナリストの基本戦略は、民族主義・一国主義による外国人労働者や外国資本に対する排斥である。しかしそもそもグローバル資本主義とは資本の国際的連携と多国国籍化によって共通の利益を追求する国際的運動である。だから雇用主からのわずかな「分け前」を、他民族を排斥して優先的に受け取っても、何の解決にもならない。民族排外主義は、所詮は新自由主義への屈服であり、「真の敵」を隠蔽する目くらましに他ならないのである。



韓国サンケン労働組合の代表が、日韓連帯で闘おう(写真は日韓ネットより) koreanlabor.com 選挙闘争をどう闘うべきか。フランスでは反新自由主義の左翼統一戦線が作られ、メランションを立てて善戦した。

メーデーまれに見る暴挙 右翼の妨害を許すな!

日比谷公園前での反対車線に右翼の街車や台車が集結し、汚い言葉でメーデー参加者を罵っていた。実行委員の1人がたまたりかねて抗議に行く、殴る蹴るの暴行の上、門前で追いかけて来てさらに暴行を繰り返した。

実行委員会の警備担当者は激怒し「君たちは若者たちでやればいい!こちらの邪魔をするな!」と怒鳴った。門前に3台の街車が集まって行進を妨害するためデモ行進の出発が遅れた。



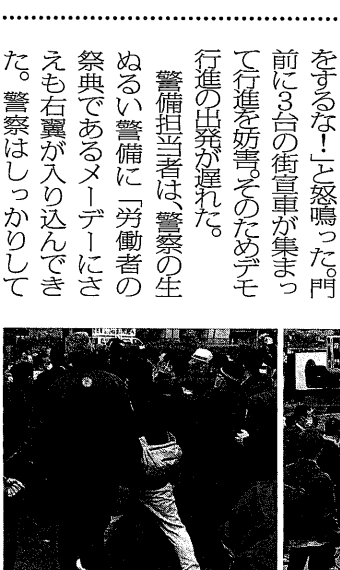
「ファシスト打倒!ペテン師に投票せよ!」反ルペンのデモがフランス全土を席卷した(2002)



自国第一主義を掲げるルペン(仏)とトランプ(米)



「マクロンもルペンも同じ」 フラカートの文字





新たな時代の幕開けを迎えた アメリカ労働運動

メーデーにてエッセンシャルワーカーの賃上げや待遇改善を訴える移民の女性たち

若者たちの反乱から新たな階級闘争へ(下) 鴻上薫

■前号では、若者たちを中心に組織され、勢いに乗る米労働運動の新しい動きをお伝えした。それから1ヶ月、闘いはさらなる広がりを見せている。勢いの止まらぬスターバックスでは、組合が結成された店舗は3倍以上に増え現在58店舗で公認化された。アマゾン労働組合ALUとも合同メーデーを開き、サンタモニカやオカシオ・コルテスら左派議員が応援に駆け付けた。100年以上の歴史を持つチームスターズ米最大運送関係組合も、関連産業として、物流の拠点であるアマゾン倉庫での組織化支援に乗り出している。万良いニュースばかりでないのも現実だ。若い組合は早速困難な課題にも直面している。

敗北から見えた現実

ALUは4月末に1500人規模の倉庫にて100日目の組合を結成するため、投票を組織し実行した。ところが事前の勢いは裏腹に、反対票が倍の差をつける結果となり、結成は阻まれてしまった。このアマゾンにおける組織化の困難は、一つの現実を浮き彫りにしている。着実に拡大するスターバックスの労働主体は白人が中心であり、バリスタという仕事にもやりがいや誇りを持つ若者が多い。

い。

一方アマゾン倉庫で働く従業員の多くは、不安定で極貧環境に生きる黒人やヒスパニック系移民である。仕事も過酷で代替可能な単純作業であり、就労期間の平均はわずか8ヶ月、多くの従業員はホロポロになるまで働いては他の倉庫や職場に移っている。もちろん彼らこそ誰よりもアマゾンの支配と暴力を認識し組合を必要としている。しかし、現実として、どのようでも組合という長期的な運動よりも今日を生きていくための

高め、資本はますますそう

た人間固有の創造性から産出される価値への依存を強めている。このことは、社会から排除されてきた女性や移民たちが助け合いの中で担ってきた生活現場での協働が、社会へと埋め戻されつつある事態といえる。資本は労働力としての女性、移民、黒人たちに依存することで、自身の権力基盤を掘り崩しかねない、社会的協働を自ら生み出しつつあるのだ。

尾をつかめないネットワーク

の戦略を柔軟に、創造的なものへと変えていく。日本が学ぶべきこと。混迷する日本の労働は何を学ぶべきだろうか。新自由主義の終わりと混沌の時代において、日本の労働もまたパラダイム転換を迫られている。それは、組織や名前を表面に上乗せする移民や非正規の女性を組織化し、組合の統一性のもとに押し込めることで

はない。

職場で声を上げる若者を「労働問題」として処理し、形式的な手続きと行動に当てはめることもない。つまり、労働が社会から浮いた特殊な集団になりつつある状態から、信頼を取り戻すこと。変化する生活と労働に根ざすこと。つまり、運動を社会に埋め戻すことが必要だ。それが米国から学ぶことだと思ふ。



チームスターズのメンバーもアマゾン倉庫まで支援に駆け付けた



バイデン大統領と面会するALUの代表。彼が着ているジャケットには「Eat The Rich」(金持ちを食い殺せ)と刺繍されている。

社会から浮いた「労働」を反省する

写真・新聞記事で観る 自衛隊の沖縄派兵反対の記録

■あれから50年——自衛隊の沖縄各部隊は、本格的に増強され、旧日本軍の再来としての性格を一段として現しつつある。いまや自衛隊の派兵部隊は、琉球列島全域に亘る、攻撃部隊「ミサイル部隊」となっており、島々全域の要塞化が謀られつつある。そして、この自衛隊部隊は、在沖在日米軍とともに、対中戦争態勢を構築しようとしており、この態勢により再び沖縄戦・海洋限定戦争が、凄まじい規模で再現されようとしている。琉球列島の要塞化——対中戦争態勢を食い止めるためのたまたかいは、沖縄のみならず、「本土」民衆の運命をも決める、重大な段階を迎えている。ウクライナ戦争は遠くの戦争ではない！この戦争と連動しつつ、今われわれの足下で、戦火の足音が激しく響き始めているのだ。

「長官に会わせて」自衛官5人が直訴 防衛庁を慌てさせた前代未聞の事件

沖縄の日本復帰が翌月に迫る1972年4月27日、東京・六本木にあった防衛庁(当時)正門前に突如、報道陣を引き連れた制服姿の自衛官5人が現れた。騒然とする現場でカメラのフラッシュを浴びる5人の中に唯一、沖縄出身で当時20歳の一等陸士、与那嶺均さん(69)が今帰仁村出身だった。読み上げた文書は、防衛庁長官宛て。復帰に伴う自衛隊移駐に鋭く反発していた沖縄と呼吸するような直訴だった。

「10項目要求」を！

防衛庁前で現役自衛官たちが要求したのは、自衛隊の沖縄派兵——立川治安移駐反対、自衛官の人権など求める10項目の要求だった。決起した自衛官らは同年5月、全員が懲戒免職処分につけられた。

しかし、それにもめげず、自衛官たちは、当初の目的を果たすべく「返還直後の沖縄に飛び、沖縄派兵反対で広がった沖縄民衆と合流、「自衛隊沖縄派兵反対」の運動の先頭に立った。

そして、あれから50年——自衛隊の沖縄各部隊は、本格的に増強され、旧日本軍の再来としての性格を一段として現しつつある。いまや自衛隊の派兵部隊は、琉球列島全域に亘る攻撃部隊「ミサイル部隊」となっており、島々全域の要塞化が謀られつつある。この自衛隊部隊は、在沖在日米軍とともに、対中戦争態勢を構築しようとしており、この態勢により再び沖縄戦・海洋限定戦争が、凄まじい規模で再現されようとしている。

World News Review 世界潮流
ワールドニュース レビュー・最新レポート

50年前1972年4月27日、自衛隊の 沖縄派兵中止求め反戦自衛官が決起!

安部疑念ヒラで逮捕
誰を守る「入隊志願」
憲法下の組織 内部議論



「長官に会わせてほしい」「無理だ」。15分ほど守衛と押し問答した末「長く居座

(出展：小西誠さんWeb記事より構成)

【2022年度 受講案内】 一般社団法人 大阪労働学校・アソシエ 事務局より

大阪労働学校は2022年度も講座を開講いたします！下記の案内とHPやチラシをご覧のうえ、どうぞ講座の受講、そして学校の支援をよろしくお願ひします。

●受講の基本 教室参加の方は講座開始時刻までに直接教室にお越しいただき、受付にて支払いなどを済ませご参加ください。オンライン参加を希望の方は事前にメールでのご連絡とお振込みをお願いします。

<連絡先> オンライン受講お申込み: kpc97858@iris.eonet.ne.jp (学長・斉藤日出治 宛) お問い合わせ: info@ols-assoc.or.jp

<受講料> 1回1,000円(学生・失業者500円)、受講予定分まとめてお支払い可。サポーター会員は無料。

<お支払い> 教室参加はその場で支払い下さい。オンライン参加希望の方は、メールにて参加予定の講座、お名前などを明記しご連絡の上、下記の口座まで氏名を明記しお振込み下さい。当日までにZoomのリンクを送付します。

<受講料・サポーター会費振込先>

ゆうちょ銀行 名義: アソシエ (略称) 店番: 019 預金種目: 当座

店名: O-九店 (ゼロイチキユウ店)

口座番号: 0567753 記号番号: 00120-3-567753

<開催方法> 教室、オンラインのみ、教室とオンラインの併用(講座ごとに異なります)

教室の住所: 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ 3F 会議室 ※これまで教室のあった学館館から移転しております。ご注意ください。

<サポーター会員募集> 年額: 12,000円 学校の支援を目的とし、特典として受講し放題、ニュース配信、アーカイブの提供などのある会員制度です。年額12,000円で振込先は受講料の支払先と同じです。メールにて会員希望の旨、お名前と連絡先をお送りください。振込確認後、会員として登録いたします。

主催 大阪労働学校アソシエ TEL: 06-6323-7707 Mail: info@ols-assoc.or.jp



2022年度 協同組合論 資本主義を超える経済体制と文明 講師: 津田直則

日時 5/22 (日) 2回目以降は、7, 9, 11月の日曜日を予定しています。10:00-11:30

大阪労働学校・アソシエ (大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ3F) 受講料1000円 (学生・失業者500円)

本講座は、津田直則講師の新著『資本主義を超える経済体制と文明—改革から変革へ—』の内容を4回にわたって解説します。資本主義を超える経済体制とは何か? どのように可能なか? 労働者協同組合などの事例から一緒に考えたいと思います。本を購入しなくても資料は用意いたします。

初回テーマ: 資本主義を超える体制論—文明論—変革論(新著第一巻) 第2回: 協同組合を発展させる発展させる「連帯システム」と具体例(第二巻) 第3回: 協同組合ESOTIによる株式会社改革(第三巻) 第4回: 労働者協同組合への多様な道(第四巻)

今日の戦争でロシア軍の所業を知った今もはやまったく笑えない映画に愛を注ぎました。クライシスアクターと呼ばれる俳優たちを起用して作るフェイクニュースから

- 群馬 ●三光堂書店 伊勢崎市大手町2の15 0270(25)2347 ●神奈川 ●中原ブックランド 川崎市中原区小杉町3の1 044(71)2346 ●東京 ●書泉クラブ 千代田区神田神保町1の3 03(32295)0011 ●模範舎 新宿区新宿2の4の9 03(33352)3557 ●愛知 ●豊川堂カルミア店 豊橋市花田町西宿無番地 豊橋ステーションビルカルミア 0532(55)2810 ●ウニタ書店 名古屋市中区今池1の6 13 今池スタービル 052(73)1380 ●丸吉書店 美濃加茂市太田町2535の1 0574(25)2281 ●香川 ●廣松書局 高松市松島町2の1の9 087(834)1533 ●福岡 ●金修堂 福岡市中央区草香江2の2の7 092(73)12612 ●沖縄 ●ブックスじのん 宜野湾市真栄原2の3の3 098(89)7241

4/14 日中国交正常化50周年記念・緊急集会

今が平和勢力の正念場! 対中国敵視政策やめよ

主催 日中国交正常化50周年記念・記念集会実行委員会 日中国交正常化50周年記念・緊急集会 一米国製の反中包圍網の手先となることは許されない



東日本国際大学で政治学教授・政治評論家の森田実氏が「アジアの平和と繁栄の肝は、日中の協調と友好にある」として、隣国の平和友好なくして国民の安寧はないと強調。中国との関係において厳しく理性を働かせない限り、もし一朝事ある時は日本は瞬時に壊滅すると現政権の中国挑発姿勢に大きな懸念を示し、今が平和勢力にとって大きな正念場であると警鐘を

東京・国会衆院議員会館にて盛況

「中国を仮想敵国に仕立て上げて、着々と戦争準備に突き進む日本。そんな事が許されて良いわけがない」一米国の反中包圍網の手先となることは許されない—50年前、当時の田中角栄首相と大平正芳外相は、自民党内の親台派の抵抗・妨害を押さえ込んで、歴史的な日中国交正常化・台湾断交へと歴史の舵をきり今日に至る。 4月14日、東京衆議院第一議員会館・大会議室で会場いっぱい参加者を集め来賓として政治評論家の森田実氏、伊波洋一参議院議員2氏のスピーチに続き、羽場久美子青山学院大学名誉教授、藤原厚山口大学名誉教授による特別講演があり、「アジアの平和と繁栄の肝は、日中の協調と友好にある」との集会意義が確認された。

当日は集会の主権者を代表して、村山首相談話を継承する会から藤田高景理事長が挨拶。 「50年前の9月29日、田中角栄首相の歴史的偉業を覚えて。今の日中関係だが、本来ならばこの1972年の日中国交回復というのは戦後史に残る出来事であったゆえに政府が記念事業をやった然るべき。なのに今年1月の日米2+2会議は、日米で対中国戦争準備に入るといふことを文書化してしまった」と、与党の時代錯誤的な世界認識を厳しく指摘した。

また、参議院議員・沖繩の風代表の伊波洋一議員が「台湾有事で南西諸島を戦場にしてはならない」と題し、「沖縄も今年復帰50周年であるが、米国は日本を本格的に対中国軍事作戦にのめり込むよう支配を強めるだけ。今や貿易の輸出で1/4以上を占める中国との関係を壊してしまつたら国民の生活さえ困難になる」として、台湾有事を口実に米国の思いのままにさせてはならないと満席の会場に訴えた。

【編集部より】コモンズ誌上でこれまで、独自の情報発信を続けてきた富山大学名誉教授小倉利丸(おぐら)さん。 「現代資本主義論情報資本主義論を専門とする経済学者として資本主義のグローバル化・反テロ戦争下の監視社会に対する批判的な視点から民衆の安

保障等々の策定に向けた提言」批判を中心に

抵抗の主体とその思想

反グローバル資本主義の新たな闘争 抵抗の主体とその思想 (PP ブックス) 小倉利丸 2,300円+税

GWは沖縄意見広告の大詰め作業や労働学校アソシエの準備で忙しかったが、同時に、たくさんの方の協力や支援を感謝し充実した日々となった。これほど厳しい情勢にあつても民衆の生活と命のために、より良い社会のために、活動をあきらめない読者の皆さんと支援者の皆さんには本当に頭が下がる思いだ。どうか今後も力を貸していただきたい。(東京S) ●6・4映画 2上映会のまた「5・29沖縄意見広告運動報告集会」の成功を目指し5月1日「メーデー」日比谷野音、3日「憲法集会」有明等々、ほぼ毎日取り組む日々。 そうした中で、「世直し川柳」から「No.2」レーパーネット川柳班発行も作り、これも連日配布中。後の時代から見れば「なぜあの時日本人は戦争に反対しなかったのか」何を考へていたのか「がまた問われるような時代を今私たちが生きていくという思いを強く抱く日々。」「先だけの平和」とか「行動しない屁理屈など何の役に立たない時代の真つ中で、我ら何すべきかをさらにに思う。(乱)



2018年カンヌ国際映画祭 ドンバス

「8年前から戦争が続くウクライナ東部ドンバス地方の政治や社会を風刺を織り交ぜながら描くロスニツァ監督の傑作フィクション。歴史的なしがらみに加え、高技術なフェイクニュース、政治の腐敗や暴力による支配で現在の戦争がさらに複雑化する。

ウクライナ軍との武力衝突が日常的に起きているこの地域にはロシア系住民が多く住み「分離派」の政治工作によってウクライナ系住民との分断が深まり内戦となつていく。

新政府への協力という口実で民間人から資産を巻き上げる警察組織、そして国境での砲撃の応酬……。無法地帯「ヴォロシヤ」の日常を描く13のエピソードは、ロシアとウクライナの戦争をすでに予見していた。

始まりの支援物資を横領する医師と怪しげな仕掛人湿気の充満した地下シェルターでフェイクニュースを見る人々。

- 群馬 ●三光堂書店 伊勢崎市大手町2の15 0270(25)2347 ●神奈川 ●中原ブックランド 川崎市中原区小杉町3の1 044(71)2346 ●東京 ●書泉クラブ 千代田区神田神保町1の3 03(32295)0011 ●模範舎 新宿区新宿2の4の9 03(33352)3557 ●愛知 ●豊川堂カルミア店 豊橋市花田町西宿無番地 豊橋ステーションビルカルミア 0532(55)2810 ●ウニタ書店 名古屋市中区今池1の6 13 今池スタービル 052(73)1380 ●丸吉書店 美濃加茂市太田町2535の1 0574(25)2281 ●香川 ●廣松書局 高松市松島町2の1の9 087(834)1533 ●福岡 ●金修堂 福岡市中央区草香江2の2の7 092(73)12612 ●沖縄 ●ブックスじのん 宜野湾市真栄原2の3の3 098(89)7241

「コモンズ」川柳 乱鬼龍 復帰復帰とどろが良かった五十年 ウクライナ 次はアジアを 狙う魔手 侮辱罪 正義の声を 侮辱する ジェンダース おっさん政治 カビが生え 資本主義こそがフェイクの 極みなり